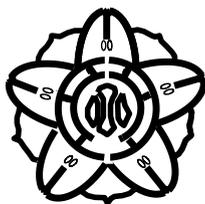


**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和5年12月

海老名市立門沢橋小学校

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

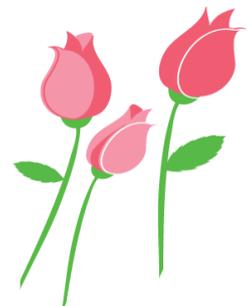
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 文章を読み、その種類や特徴を理解できています。
- 情報と情報の関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができます。

◆課題のある点

- 条件を満たし、自分の考えをまとめて書くことに課題があります。
- 日常でよく使われる敬語の使い方の理解が十分ではなく、文章や会話の中で正しく使うことに課題があります。
- 初めて取り組む説明文等を読解することに時間がかかり、時間的に全ての問いに解答することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えを持ち、書いたり伝えたりすることによって、題意に沿って考えをまとめる力が身につくよう指導していきます。
- 学習した敬語を、書いたり話したりして文章や会話の中で使う機会を増やしていきます。
- 各教科において、多様な文章を読む機会を多く設け、読解力が向上するよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 表から値の変化の特徴を読み取ることができています。
- 図を基に、計算の各段階の意味を考えることができています。

◆課題のある点

- 2つ以上の要素や要因から、情報を読み取り必要な事柄を判断することに課題があります。
- 場面に合わせた四則計算や、()を用いた計算方法に課題があります。
- 図形の形状変化や空間認識について課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題におけるそれぞれの数量や割合が何を意味するのか判断できるように、日常の言葉を大切にしながら指導を国語の学習とあわせて積み重ねていきます。
- 新単元の開始前に、関連する既習内容を振り返ることができるような時間を設定します。また、デジタルドリルを活用した、自主学習やデジタルでの課題を設定し、気軽に復習ができるようにしていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語、算数、英語の勉強が大切だと回答している児童が全国平均より上回っており、総じて、学習の大切さを感じている児童が多いことがわかります。
- 日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと感じています。英語の学習が好きだと回答する児童も多く、楽しんで学習している様子がわかります。
- 道徳や国語での話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする意識が高いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 平日において、学校の授業以外に1時間以上学習している児童の割合は、全国平均より約10ポイント下回っています。
- 国語の回答を文章で書く問題において、途中であきらめてしまったと回答する児童が全国平均より上回っており、書く活動に苦手意識をもっている児童がいることがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 自分にはよいところがあると回答している児童の割合が全国平均より約10ポイント上回っています。
- 学校に行くのは楽しいと回答している児童の割合が、全国平均に比べて約10ポイント上回っています。
- 人が困っているときには進んで助けている児童の割合が、全国平均に比べて約10ポイント上回っており、互いに助け合いながら生活しようとする意識が高いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 学校図書館や地域の図書館に週に何回か行くと回答している児童の割合が、全国平均と比べて約10ポイント下回っています。
- 毎日同じくらいの時刻に起きている児童の割合が、全国平均と比べて約5ポイント下回っています。
- 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が、全国平均と比べて約5ポイント下回っています。

今後の具体的な取組について

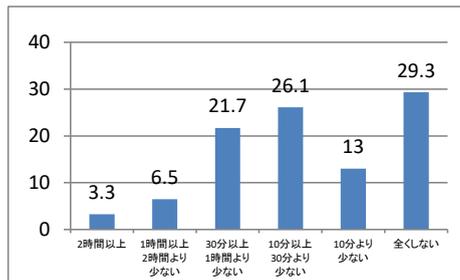
- 自分の良さを見つけたり、将来の夢や目標を持って生活したりしていると回答する児童が全国平均よりも高いです。今後も自己肯定感を育てるために、各教科、道徳、学活などの活動を通してひとりひとりの良さを認めていきます。
- 図書館に行くという児童や、読書が好きだと回答している児童が、全国平均よりも低いです。朝学習での「わくわくブックタイム」や先生による読み聞かせなど、今後も読書活動を大切に取り組んでいきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 家庭でも読書の時間を設けましょう

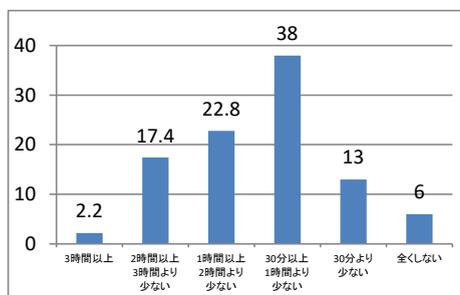
読書を継続的に行うことで、学力の基礎となる読解力を身に付けることができます。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

2 家庭学習の習慣を身に付けましょう

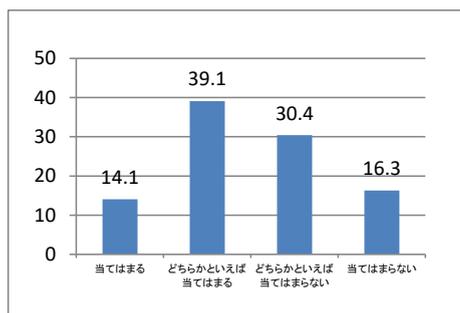
家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。お子さんに合った学習時間を設定していきましょう。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

3 地域の行事に進んで参加しましょう

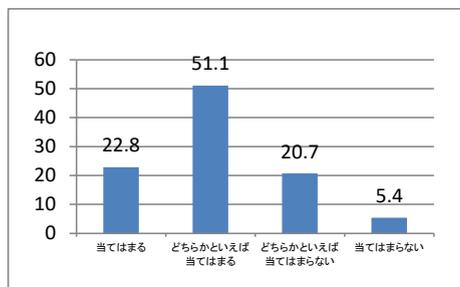
地域の様々な人々との世代を超えた交流を行うことで、学校だけでは経験できない豊かな人間形成を図っていくことができます。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

4 最後まであきらめずに取り組みましょう

途中で投げ出すことなく取り組むことで忍耐力が身に付きます。



5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



多様性を受け止め、多様性を生かし、えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係